

「払込取扱票」を使った振込方法について、画像付きで解説します。

ゆうちょATMは、手数料が安く便利ですが、「払込取扱票」に対応したATMと、非対応のATMの2種類があるので、注意が必要です(自分も今回やってみて知りました)。その見分け方についても紹介します。

目次

- 1. 「払込取扱票」
- 2. 「払込取扱票」対応ATMを使う！
- 3. 郵便局へ行こう
- 4. 対応ATM
- 5. 郵便局の検索方法
- 6. 土日に振り込みたい場合
- 7. 振込手順

「払込取扱票」

払込取扱票とは、次のような、振込用紙です。

02	東京	払込取扱票	通常払込料金 加入者負担	郵便払込請求書受領証
00	[Redacted]	金額	24000	[Redacted]
払込先	[Redacted]	科金	備考	[Redacted]
払込人住所氏名・通信欄	[Redacted]	日	附	[Redacted]
郵便の注意事項をお読みください。ゆうちょ銀行へお振込みの際は、ゆうちょ銀行のATMで振込してください。		科金	備考	[Redacted]

「払込取扱票」対応 ATM を使う！

ゆうちょ ATM には、「払込取扱票」の対応機種と非対応機種の2種類があります。

駅の中や、コンビニなどにもゆうちょ ATM はありますが、それらはおそらく、払込取扱票の非対応機種で、払込取扱票を使った振込ができません。



非対応機種の見分け方は、通帳の挿入口の上に、払込取扱票の挿入口があるかどうかです。

今回の画像では、本来あるはずの払込取扱票の挿入口が、埋められています（画像の四角の部分）。

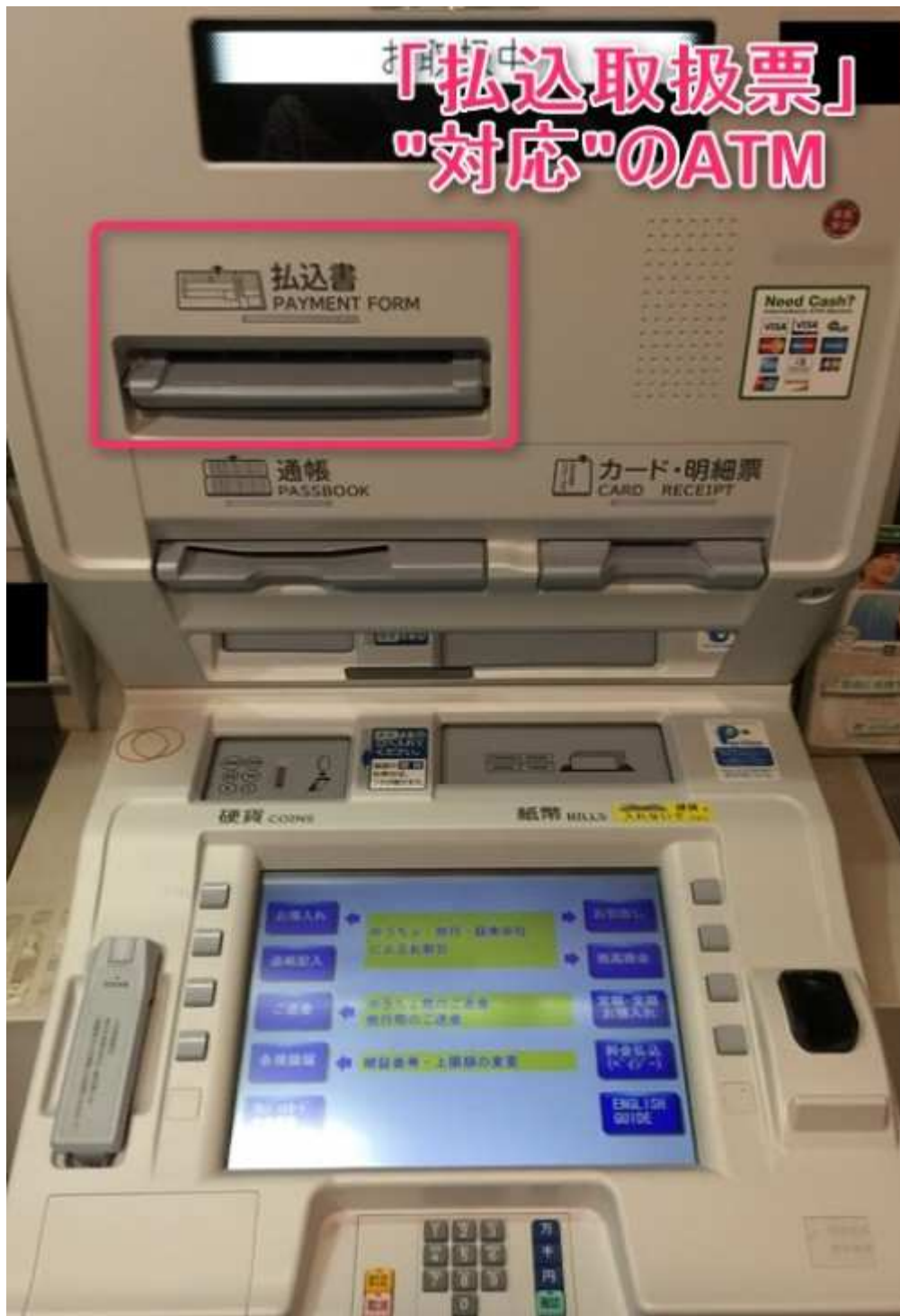
※この ATM の違いに気が付かずに、「どこに入れれば良いの？」となってしまうように、気をつけてください（←自分のこと）。

郵便局へ行こう

では、対応 ATM はどこにあるかというと、やはり「郵便局」です。

対応 ATM

対応 ATM は、次の画像のような ATM です。



「払込票」の表示があるのが目印です。

郵便局の検索方法

郵便局の検索方法はいくつかありますが、スマートフォン用サイト(PCからも利用可)

「<http://sp.map.japanpost.jp/>」の「現在地に近い ATM を探す」機能が便利でおすすめです。

土日に振り込みたい場合

郵便局のゆうちょ ATM は、窓口が閉まっても、時間内であれば利用可能です。

営業時間例はこちらです。

平日 9:00～ 19:00

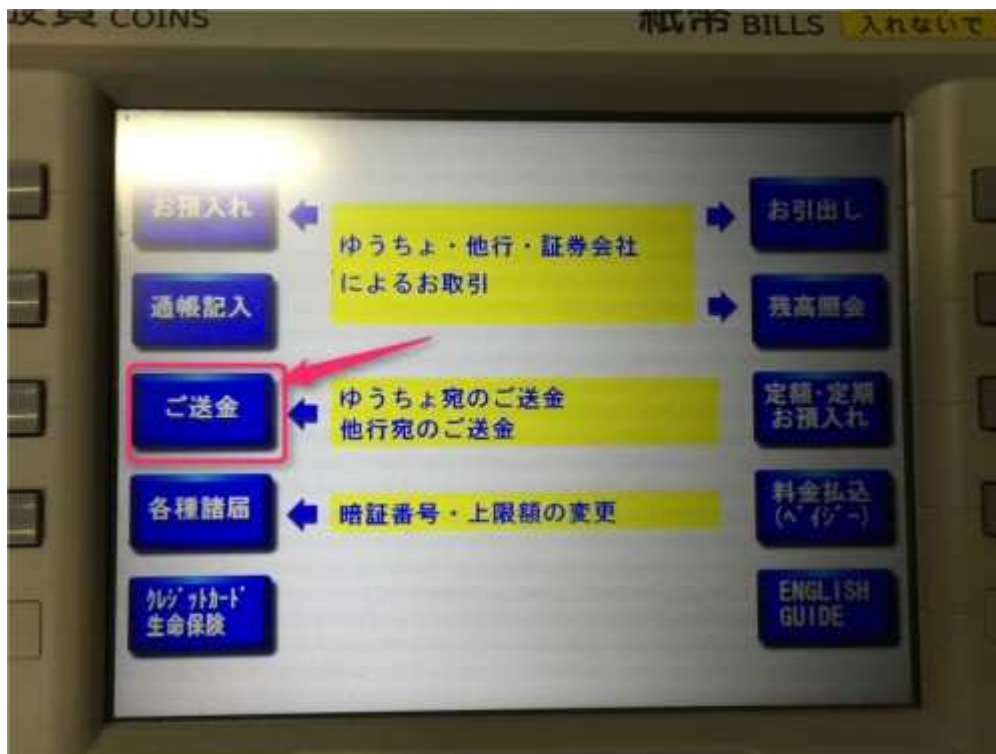
土曜 9:00～ 17:00

日・休日 9:00～ 17:00

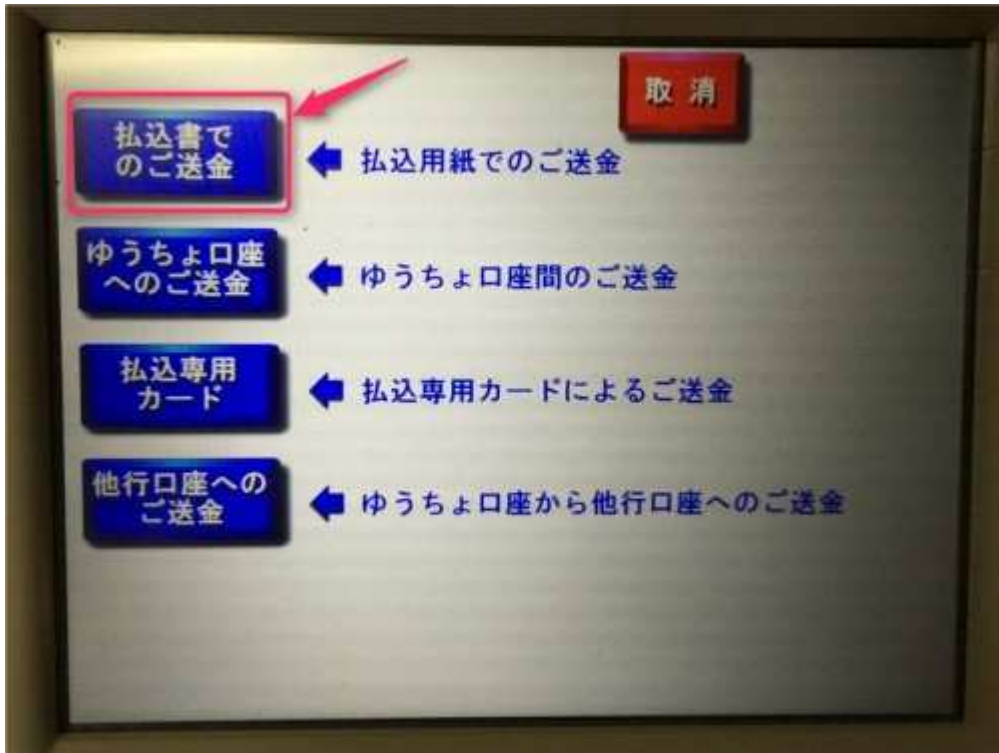
振込手順

以下、画像付きで、振込手順を紹介します。

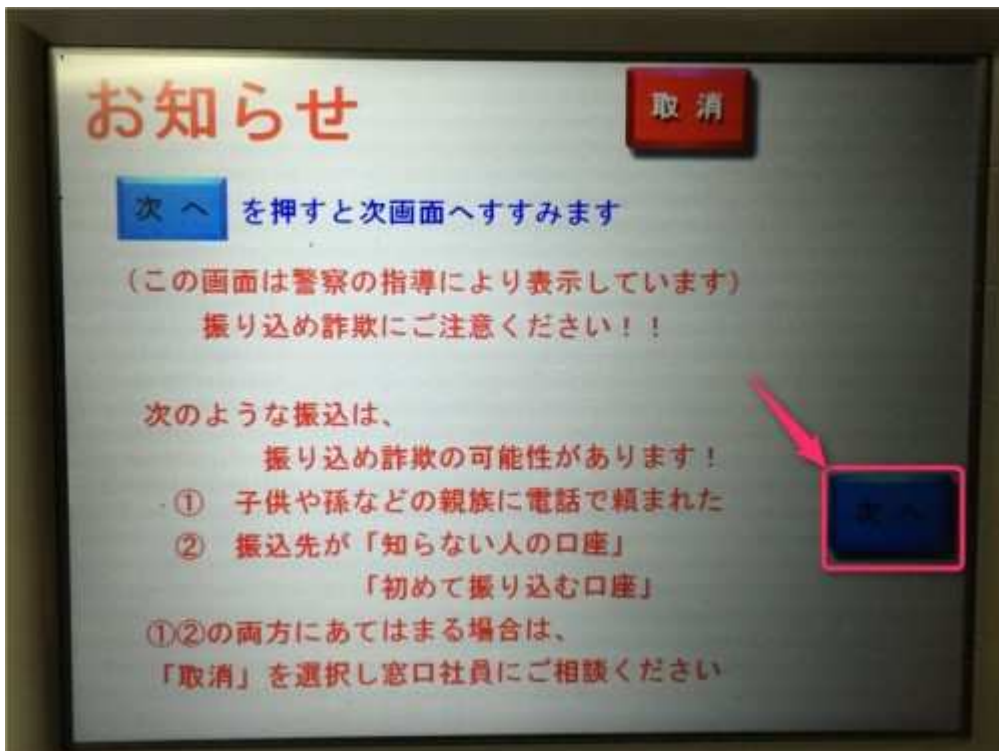
まず最初に、ATM 画面の「ご送金」をタップします。



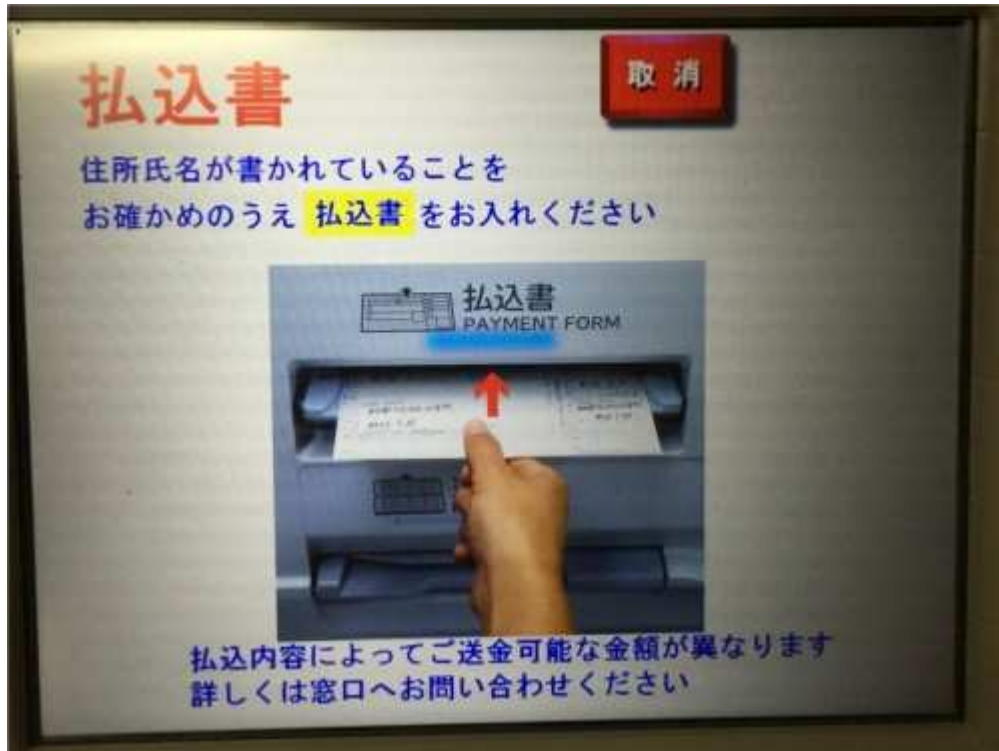
一番上の「振込書でのご送金」をタップします（注意：非対応 ATM では、このボタンが表示されません）。



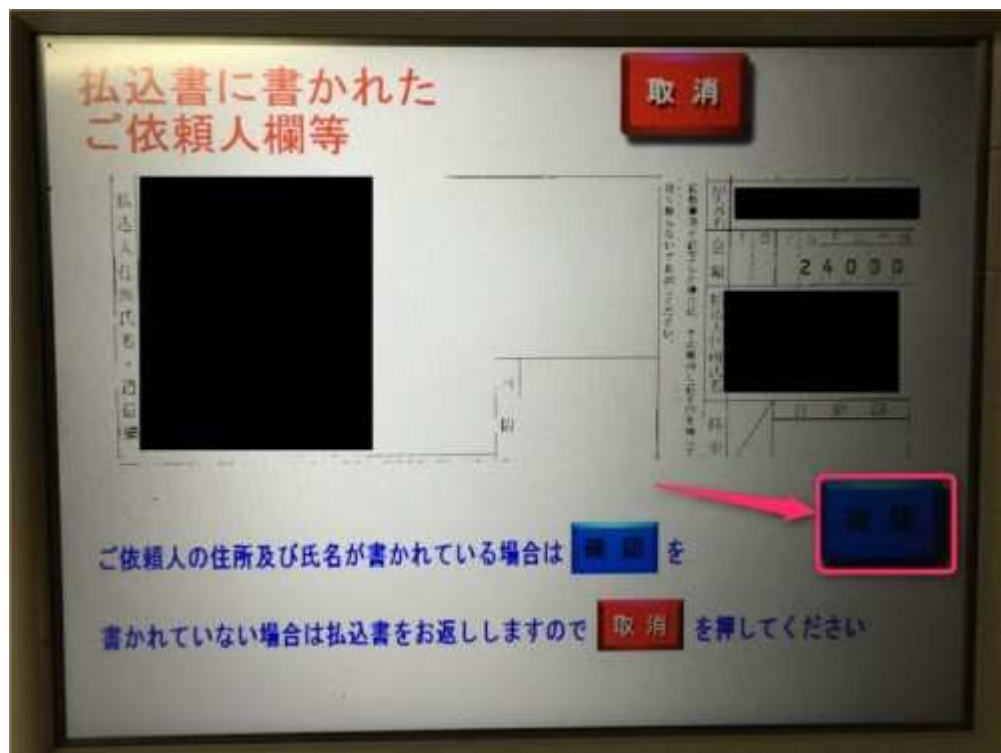
「次へ」をタップします。



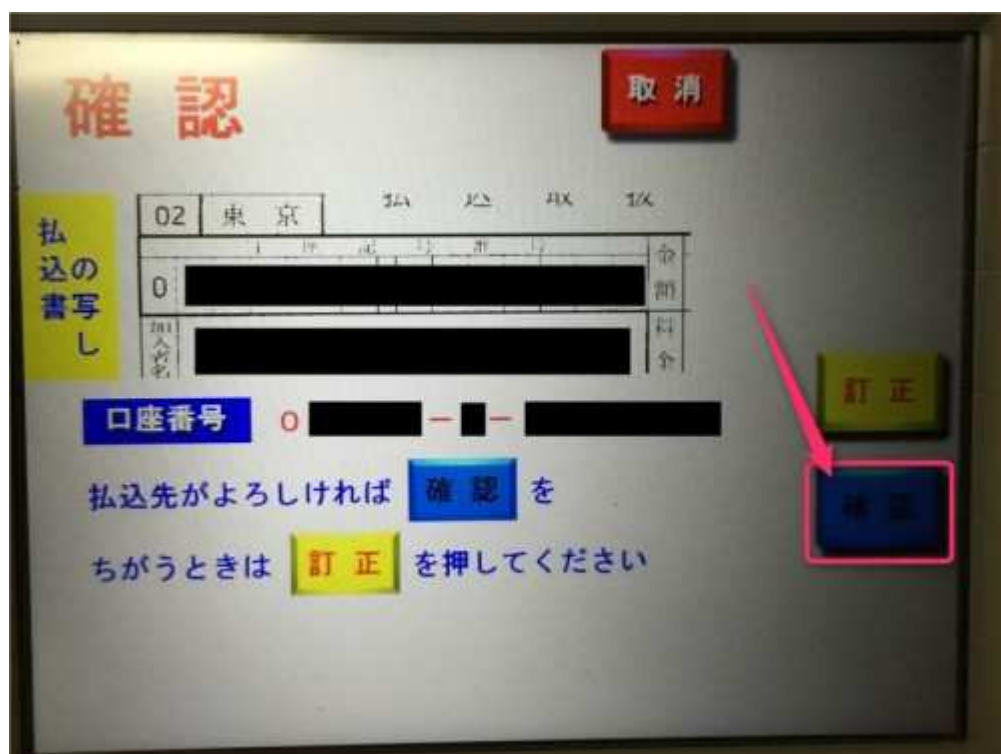
次の画面が出たら、「払込取扱票」を、「払込書」挿入口に差し込んでください。



スキャンされた内容を確認して、「確認」をタップします。



口座番号が間違っていないか確認して、「確認」をタップします。

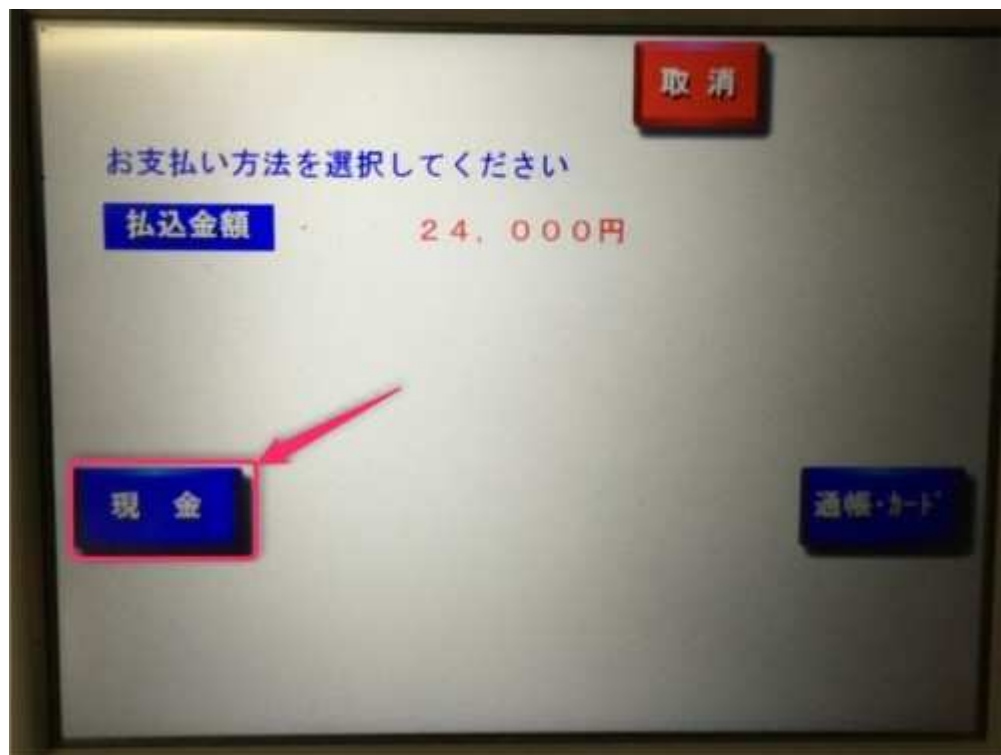


スキャンされた**払込金額**を入力します。

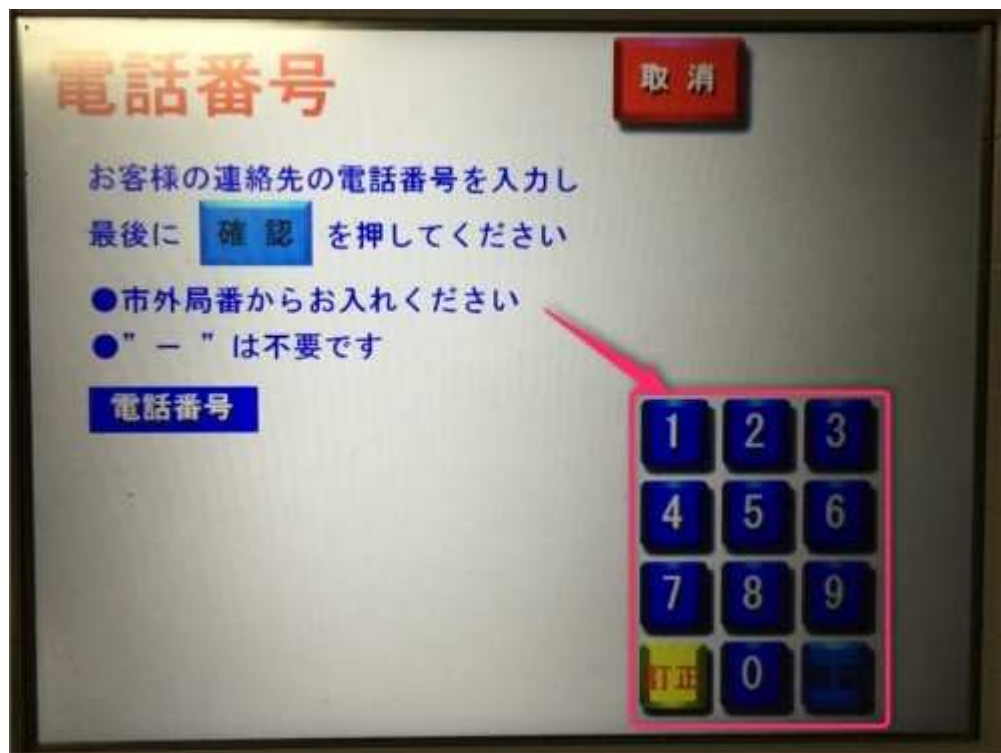


「円」まで入力したら、「確認」をタップします。

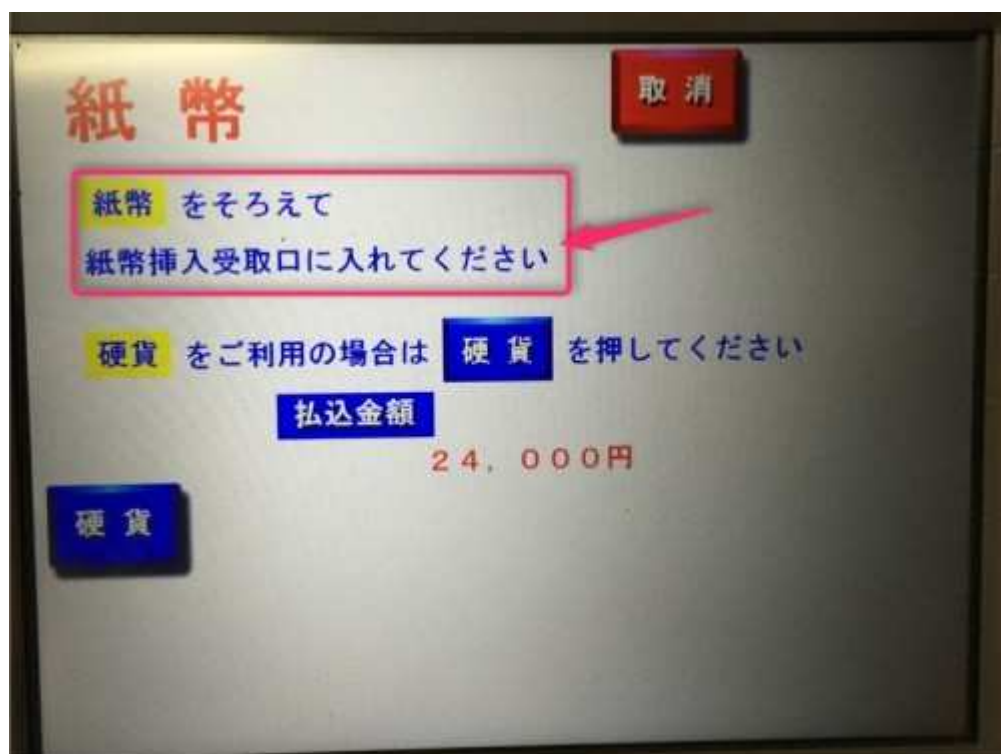
「現金」をタップします。



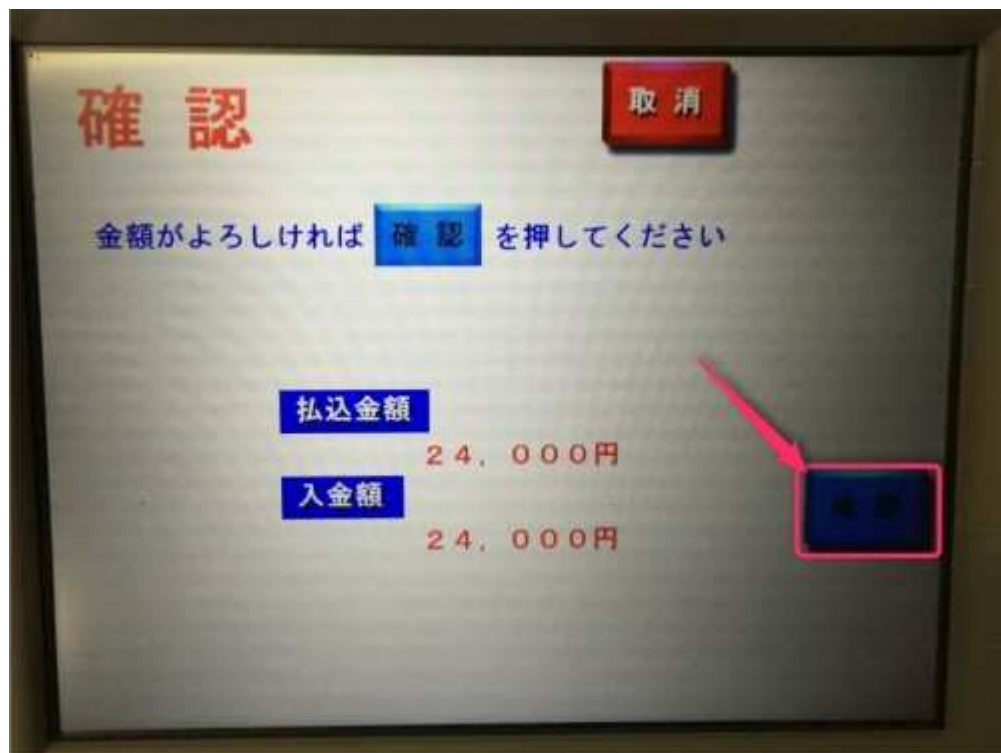
市外局番から、自分の電話番号を入力してください(携帯で OK です)。



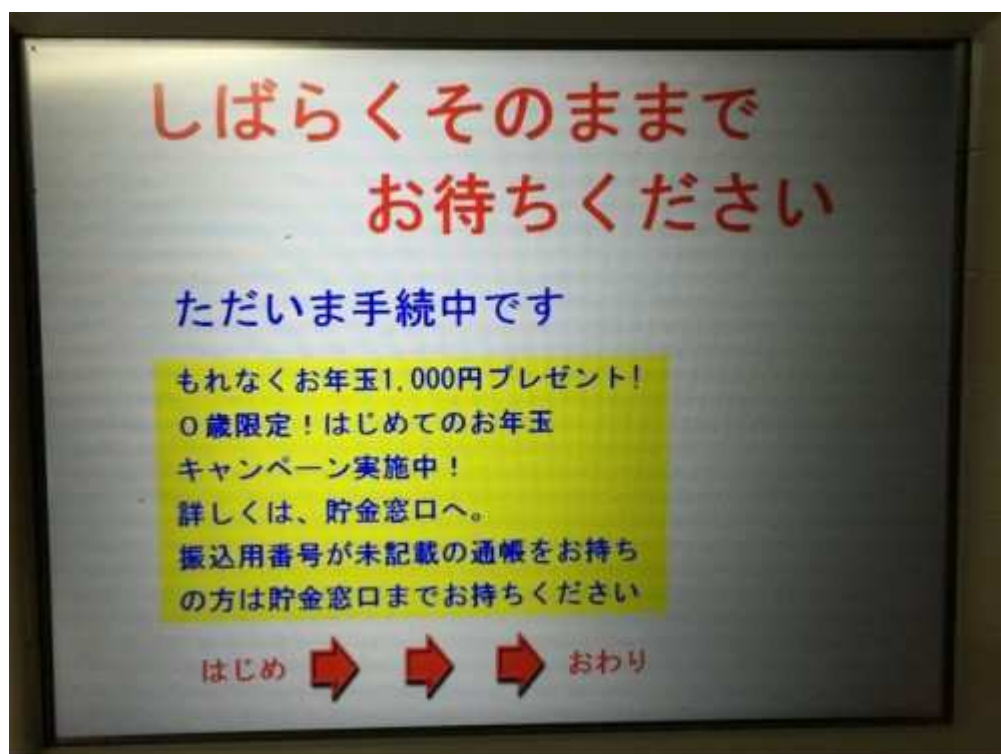
紙幣を入れる口が開くので、現金を入れてください。



現金を入れ終わると次の画面になるので、「確認」をタッチします。



送金が始まるので、終了を待ちます。



終了すると、「ご利用明細表」が出てくるので、なくさないようにしてください(振込先に証明として提出する場合があります)。



これで、振込作業完了です！